

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	国際医療福祉専門学校一関校
設置者名	学校法人 阿弥陀寺教育学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門課程	救急救命学科	夜・通信	53 単位	6 単位	
	理学療法学科	夜・通信	61 単位	9 単位	
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考) ・実務経験のある教員等による授業科目には、臨床実習は含めていません。 ・令和2年入学生より新カリキュラム(新課程)に移行					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

本校ホームページ http://imwc-ichinoseki.ac.jp/学校概要/情報公開
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学 校 名	国際医療福祉専門学校一関校
設置者名	学校法人 阿弥陀寺教育学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

本校ホームページ http://imwc-ichinoseki.ac.jp/学校概要/学校法人及び関連校
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	無職	始 令和2年4月 終 令和3年3月	学校運営や人材育成 に対するアドバイス
非常勤	無職	始 令和2年4月 終 令和3年3月	学校運営や人材育成 に対するアドバイス
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名（学部等名）	国際医療福祉専門学校一関校
設置者名	学校法人 阿弥陀寺教育学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画の作成・公表に係る取組の概要)	
○授業計画書の作成	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業計画書（シラバス）は、学科長の指示のもとに各教科担当教員が作成している。 ・ 授業計画書（シラバス）の作成にあたっては、救急救命士学校養成所指定規則及び理学療法士養成施設指定規則等、国が定める基準を踏まえつつ、本校の教育理念や目標が実現できるように作成し、校内における職員会議で調整している。 ・ 担当教員が作成した授業計画書（シラバス）は、職員会議で調整し決定している。 	
○授業計画書の公表	
決定した授業計画書については、毎年度初めに学生に配布するとともにHP等で一般に広く公表している。	
授業計画書の公表方法	本校ホームページ http://inwc-ichinoseki.ac.jp/学校概要/情報公開
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
成績の評価及び単位認定に関する規定は、学則及び細則に記載しているが、その概要は次のとおりである。	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業科目の成績評価は、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案し、単位認定会議を経て学校長が評価、認定する。但し、出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者は、その科目については評価を受けることができない。 ・ 各科目の成績評価は、各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が60点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。 ・ 当該学年において、履修すべき科目修了認定を受けている者を進級させる。 	
これらの方法・基準により、厳格かつ適正に単位授与又は履修認定を実施している。	

3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

○成績評価の指標の設定

- ・各授業科目の成績評価の指標は、次のとおりとする。

成績の評価				備考	
本校評定	点数または評価		可否判定		点数は、本試験（本試験の追試験、及び最終試験を含む）の点数とする。
A	優	80点～100点	3	可	
B	良	70点～80点未満	2		
C	可	60点～70点未満	1		
D	不可	60点未満	0	不可	

- ・当該学生の各科目の可否判定の点数の合計を、対象科目数で除して得られる数値を、当該学生の個別評価平均値とする。
- ・前期及び後期試験における各科目の得点について、全科目の合計を算出し、対象科目数で除して得られる数値を個別得点平均値とし、学科内における各学生ごとの成績位置の指標とする。

この基準により客観的な指標を設定し、数値を算出して、適切に実施している。

客観的な指標の算出方法の公表方法

本校ホームページ

<http://imwc-ichinoseki.ac.jp/学校概要/情報公開>

<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>○卒業認定に関する方針の策定 本校においては、以下のとおりディプロマ・ポリシー（卒業認定・称号授与方針）を策定している。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>本校においては、卒業に必要な単位を修得し、それぞれの業務に必要な専門知識・技術と豊かな人間性を持つ社会人として、以下に示した技量と知識を習得した者に対し卒業を認定し、専門士の称号を授与する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生命の尊さを重んじ、人の苦しみや痛みを理解し、豊かな人間性を身に付けている。 ○それぞれの分野の専門知識や技術を身に付け、必要としている人々を支援できる能力を身に付けている。 ○医療機関や地域において、他の医療専門職者と連携し、関係者との間で調整できる能力を身に付けている。 ○卒業後において、職の重要性を認識し、さらなる知識や技術を習得しようとする向上心を身に付けている。 ○いかなる場面においても、冷静・沈着に対応できる能力を身に付けている。 </div> <p>○卒業の認定方針の公表 卒業認定方針については、本校ホームページで公表する。</p> <p>○卒業の認定方針の適切な実施 上記の方針のもとに、所定の修業年限以上在籍し、当該学科の全科目の履修し、卒業試験に合格した者について、卒業判定委員会において判断する。 この方針や学生の修得単位数等を踏まえ、卒業を認定している。</p>	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	本校ホームページ http://imwc-ichinoseki.ac.jp/学校概要/情報公開

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学 校 名	国際医療福祉専門学校一関校
設置者名	学校法人 阿弥陀寺教育学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	本校ホームページ http://imwc-ichinoseki.ac.jp/学校概要/学校法人及び関連校
収支計算書又は損益計算書	本校ホームページ http://imwc-ichinoseki.ac.jp/学校概要/学校法人及び関連校
財産目録	本校ホームページ http://imwc-ichinoseki.ac.jp/学校概要/学校法人及び関連校
事業報告書	本校ホームページ http://imwc-ichinoseki.ac.jp/学校概要/学校法人及び関連校
監事による監査報告（書）	本校ホームページ http://imwc-ichinoseki.ac.jp/学校概要/学校法人及び関連校

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	救急救命学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	73 単位	45 単位		28 単位		
			73 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
70 人		48 人	— 人	3 人	7 人	10 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） （概要）
<ul style="list-style-type: none"> ・ 科目名、開講時期、単位数及びコマ数、授業区分、担当教員、目標、授業概要等を記載した授業計画書（シラバス）を作成している。 ・ 初回の講義時に、授業の到達目標等を示している。
成績評価の基準・方法 （概要）
<ul style="list-style-type: none"> ・ 学則及び細則において、各科目の修了試験の実施方法、受験資格、単位認定の方法、教育課程の履修及び卒業に関して定めている。 ・ 各科目の成績評価は、各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、総合的に勘案して行う。 ・ 修了試験結果が60点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価は不可とする。 ・ 修了試験の結果が「D」の者への再試験、再試験の結果が「D」の者への最終試験の受験機会を与えている。 ・
卒業・進級の認定基準 （概要）
<ul style="list-style-type: none"> ・ 進級を満たすためには教育課程で示してある各科目において、各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達した者が各科目の成績評価を受けることができる。 ・ 各科目の修了試験、再試験、最終試験において、「C」以上の判定となり、各学年の履修科目全てにおいて合格となり、修了認定を受けた者が進級となる。 ・ 当該学科の全科目の修了認定を受け、かつ卒業試験に合格した者に卒業を認める。

学修支援等 (概要)
<p>学生個々の課題を明確にして、課題に応じた教員のアドバイスにより、早期に課題解決を図っている。</p> <p>また、進度の遅れている学生には課題を課すなど、進度の遅れを解消するようにしている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
30人 (100%)	9人 (30%)	20人 (66.7%)	1人 (3.3%)
(主な就職、業界等)			
地方公務員（消防官）、総合病院、自衛隊、警備保障会社 等			
(就職指導内容)			
学生の大半が公務員（消防官）を希望していることから、授業の一環で公務員試験対策を実施し、外部講師による教養試験対策、教職員による面接試験対策を実施している。			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
救急救命士			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
50人	1人	2%
(中途退学の主な理由)		
進路変更、成績不振		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
<p>各クラスには担任を配置し、常に学生の学業及び生活状態の把握に務めている。</p> <p>必要に応じて補講や個別面談を実施し、また状況によっては保護者との面談を実施することにより、退学につながる要因の除去に努めている。</p>		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
医療	医療専門課程	理学療法学科	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	102単位	66単位	18単位	21単位		
			105単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
110人	80人	0人	5人	8人	13人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要)
<ul style="list-style-type: none"> 本年度より新カリキュラムでの授業を開始している。 科目名、開講時期、単位数及びコマ数、授業区分、担当教員、目標、授業概要等を記載した授業計画書(シラバス)を作成している。 初回の講義時に、授業の到達目標等を示している。
成績評価の基準・方法
(概要)
<ul style="list-style-type: none"> 学則及び細則において、各科目の修了試験の実施方法、受験資格、単位認定の方法、教育課程の履修及び卒業に関して定めている。 各科目の成績評価は、各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、総合的に勘案して行う。 修了試験結果が60点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価は不可とする。 修了試験の結果が「D」の者への再試験、再試験の結果が「D」の者への最終試験の受験機会を与えている。
卒業・進級の認定基準
(概要)
<ul style="list-style-type: none"> 進級を満たすためには教育課程で示してある各科目において、各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達した者が各科目の成績評価を受けることができる。 各科目の修了試験、再試験、最終試験において、「C」以上の判定となり、各学年の履修科目全てにおいて合格となり、修了認定を受けた者が進級となる。 当該学科の全科目の修了認定を受け、かつ卒業試験に合格した者に卒業を認める。

学修支援等 (概要)
<p>学生個々の課題を明確にして、課題に応じた教員のアドバイスにより、早期に課題解決を図っている。</p> <p>また、進度の遅れている学生には課題を課すなど、進度の遅れを解消するようにしている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
20人 (100%)	()%	14人 (70%)	6人 (30%)
(主な就職、業界等)			
総合病院、一般病院、介護老人保健施設 等			
(就職指導内容)			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 専門業者を招いてのマナー講座、身だしなみ講座等を開催 ・ 医療福祉関係機関、団体及び会社等による就職（求人）説明会を開催 ・ 図書室内に求人情報コーナーを開設 ・ クラス担任ほか教員による就職相談を実施 			
(主な学修成果（資格・検定等））			
理学療法士			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
72人	5人	6.9%
(中途退学の主な理由)		
進路変更、成績不振、家庭の事情		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
<p>各クラスには担任を配置し、常に学生の学業及び生活状態の把握に務めている。</p> <p>また、成績不振者等に対しては必要に応じて補講や個別面談を実施するとともに、状況によっては保護者との三者面談を実施し、情報交換を行い、学生の成績向上とともに普段の生活の安定に努めている。</p>		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意載事項)
救急救命学科	200,000 円	720,000 円	350,000 円	
理学療法学科	400,000 円	800,000 円	300,000 円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)
http://imwc-ichinoseki.ac.jp/学校概要/情報公開
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)
<p>(実施方法及び体制)</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校関係者評価委員会の構成は、(1)行政関係者、(2)実習施設関係者、(3)教育に関し知見を有する者、(4)その他学校長が必要と認める者の中から選出した下記の3名による。 評価項目は、1. 教育理念・目標、2. 学校運営、3. 教育活動、4. 教育成果、5. 学生支援、6. 教育環境、7. 学生募集活動、8. 財務、9. 法令等の遵守、10. 社会貢献・地域貢献の10項目。 <p>(改善方策の実施時期等)</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校関係者評価委員会が出された意見については、4月の学校経営計画の策定の際に反映できるように務める。 施設整備等で直ちに実施が難しい事項については、法人本部と情報を共有し、早期に改善できるように努める。 教務に関する事項については、毎月開催する職員会議において教職員間で情報を共有し、課題の優先度を勘案し、改善可能な項目から順次改善するように務める。 <p>(改善対策の責任者等)</p> <ul style="list-style-type: none"> 改善対策は、教務に関する事項については学科長が、他の事項については副校長が責任者となって実施にあたる。

学校関係者評価の委員		
所 属	任 期	種 別
一関市消防本部	始 令和2年1月17日 終 令和3年3月31日	実習施設関係者
医療法人敬愛会 美希病院	始 令和2年1月17日 終 令和3年3月31日	実習施設関係者
摺沢振興会	始 令和2年1月17日 終 令和3年3月31日	その他学校長が必要と認める者
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
http://imwc-ichinoseki.ac.jp/学校概要/情報公開		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)	
ホームページアドレス	http://imwc-ichinoseki.ac.jp/